

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	災害看護・国際看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員	岩田春子 村田陽子 河野 操	実務経験と その関連資格	島根大学医学部・医療サービス課に看護師として勤務 大田市立病院に看護師として勤務 日本赤十字社島根県支部に看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》 災害看護では、東北地方の大震災、風水害、列車事故など様々な災害により、災害・教育・訓練の必要性を理解する。災害という異常事態の中で、災害看護の役割を理解する。国際看護では世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実際を知り、諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げる。						
《成績評価の方法と基準》 演習の出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座、災害看護・国際看護 医学書院						
《授業外における学習方法》 指定した教科書や資料を事前に読んでおくこと、授業開始時または終了時に示す課題を実施すること、授業内容にかかわる小テストを実施するので国家試験対策として復習すること。						
《履修に当たっての留意点》 講義には既習の学習内容を踏まえた内容がたくさんあります。それらの知識を活用しながら学習してください。日頃からメディア・新聞・雑誌などの情報に関心を持ちましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害看護学と国際看護学を学ぶ意義を説明できる。		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害看護・国際看護学を学ぶにあたって、看護とグローバル化した社会、求められる災害看護学と国際看護			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害の種類と健康被害、災害医療の特徴を説明できる。災害情報の種類や職種間の連携、災害医療における法律問題を説明できる。		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害看護の歩み、災害医療の基礎知識			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害サイクルの要点を説明できる。災害サイクルの各期における被災者のニーズの変化、および具体的な看護活動を述べることができる。		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害看護の基礎知識、災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	トリアージの基本的知識と方法について説明できる。		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護、トリアージ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	災害時トリアージの区分・判定の原則・実施場所・タッグ装着部位および記載方法を述べながら実施できる。		教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護、トリアージ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	世界ではどのような問題がおこっていて、人々はなにに苦しんでいるのかを知り、看護師はなにができるのかを述べることができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	国際看護学とは、グローバルヘルス		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	国際協力のしくみや、外国人のケアにあたる際には、対象者の個別の社会・文化的背景を理解し、尊重する大切さを述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	国際協力のしくみ、分化を考慮した看護、国際看護活動の展開過程、開発協力と看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の世界における災害と難民・国内避難民の現状と支援について説明できる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	国際救援と看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害サイクルの要点や、災害サイクルの各期における被災者ニーズの変化、および具体的な看護活動を述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害看護の実際、災害サイクルと活動		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害看護を実際に行なう際の行動について述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害看護の展開（急性期・亜急性期・慢性期・復興期の看護）		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害被災者の特性に応じた災害看護の展開を説明できる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	被災者に対するこころのケアのポイント、子どもの災害時における心理状態の特徴と援助、妊産婦に対する災害看護		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害被災者の特性に応じた災害看護の展開を述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する災害看護、障害者に対する災害看護		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害被災者の特性に応じた災害看護の展開を述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	精神障害者に対する災害看護、慢性疾患患者に対する災害看護		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害被災者の特性に応じた災害看護の展開を述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	原子力災害による被災者への看護、在留外国人に対する災害看護		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	災害被災者の特性に応じた災害看護の展開を述べるができる。	教科書 配布資料	指定した教科書や資料を事前に読んでおく
		各コマにおける授業予定	災害とこころのケア、遺族のこころのケア（グリーフケア）、被災救援者のこころのケア、救援者のストレスとこころのケア		